



深田久弥

山の文化館だより

令和元年
夏号

深田久弥 山の文化館
〒九三一〇六七
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL (0762) 7213311
FAX (0762) 7211181

深田久弥と下栗訪問

長野県遠山郷上村下栗（現飯田市）へ
深田久弥は二度訪れている。最初は昭和
十年八月七日で、二度目は昭和四十二年
十二月三十一日であつた。

最初は光岳から赤石岳までの縦走が目
的であった。八日朝下栗を発ち、二日間
の停滞の後、何とか光岳には登ることが
出来た。しかし、その後も悪天候のため
縦走はかなはず、十四日下栗に帰り着き
一泊した。この時は、野牧金作方に泊ま
り、山案内人の野牧福長を雇っている。
案内人組合は、作品の中では聖鳳会案内
人強力組合とある。この組合は、昭和三
年に結成されたとのことであった。（こ
のときの登山については「山の文化館だ
より」平成三十年秋号でも触れている。

これらの赤鉛筆で書き込みのある地図
を、皆様にお目にかける機会も作りた
い。）二度目は、その当時、数年来続け
ていた元日登山で御池山に登るためで
あつた。この時も、一泊している。それ
ぞれの訪問は、作品として残されている。
『山岳展望』の「光岳」と『山頂の憩い』
の「御池山と地蔵峠」である。

「御池山と地蔵峠」のなかに「下栗ほど
美しい平和な山村を私はほかに知らな
美

い」との一文
があるのが事
の始まりであ
る。下栗では自
治会が、この一
文を埋め込ん
だ石碑を立て
た。除幕式を報
道する地元の
信濃毎日新聞
が、小諸のT氏
から山の文化
館に送られて
きた。そして、読書会で「御池山と地蔵峠」
を読むこととなつた。その場で、すぐに下栗
訪問が決まった。



この一冊

深田久弥の功績のひとつは「ヒマラヤ
の高峰」を世に残したことであろう。最初
に出版された「ヒマラヤの高峰」全五
巻（雪華社刊）のほかにも、久弥没後
一九七三年六月から八月に、白水社から
に出版された全三巻、一九八三年三月か
ら八月に、同じく白水社から出版された
全五巻の二種類のものがある。三種類と
も内容が違つてゐるので、一度手にとつ
てご覧になつてはいかがでしょうか。資料
文献室にはすべて揃つてゐます。

利さん（「御池山と地蔵峠」に登場する「リュ
ウとした背広を着け」た青年）を交えて懇談
した。昭和十年に泊まつた野牧金作方はもう
建物もないこと、深田久弥が雇つた野牧福長
は野牧知利さんの大叔父に当たること、案
内人組合の成立や、その他の案内人のこと
など当時の話を聞くことが出来た。
天候不良など条件が揃わ
ず、御池山登山は断念した。

その後、十五社大明神下の集会所で野牧知
利さん（「御池山と地蔵峠」に登場する「リュ
ウとした背広を着け」た青年）を交えて懇談
した。昭和十年に泊まつた野牧金作方はもう
建物もないこと、深田久弥が雇つた野牧福長
は野牧知利さんの大叔父に当たること、案
内人組合の成立や、その他の案内人のこと
など当時の話を聞くことが出来た。

伊吹のさしも草

高門光太郎

かくとだに えやはいぶきのさしも草
さしも知らじな もゆる思ひを

みんな知つてゐる百人一首の中の一首で伊吹山のもぐさを題材にして詠んだ恋の歌です。

私の楽しみのひとつは深田久弥『日本百名山』の読書会です。読書会の良いところは百名山の一座を皆で読み進めるとその山が身近に感じられるとともに改めて久弥さんの山文学に触ることが出来ることです。「伊吹山」を読みました。百名山に選ばれた近江の伊吹山、標高は高くありませんが植物の豊富な美しい山です。久弥さんもこの百人一首の歌を引用して植物の豊かさを讀えています。

私は百人一首に詠まれた伊吹山は近江の伊吹山でなんの疑いもありませんでした。今回これがなかつたら近江の伊吹山以外に伊吹山があることも知らなかつたでしよう。



久弥さんはきっとこんな風に答えてくれることでしょう。

「お、気がついてくれましたか、でもこの伊吹山は百名山に選んだ近江の伊吹山こそふさわしいと思わんかな」温かな久弥さんの笑顔が目に浮かびました。

編集後記

読書会関連の記事が主体になりましたが、夏号をお届けします。山の文化館のダイチヨウは緑の葉で覆われています。しかし、ギンナンのジュンドロップがほとんどありません。例年と様子の違う六月でした。

* 詳細はホームページをご覧下さい

聞こえ予定

月に一度、山に關わるお話を聞いています。ぜひご参加下さい。

午後一時半より三時（聴講無料）
深田久弥山の文化館聴山房

■八月十一日（祝・山の日）
演題…深田久弥とヒマラヤ

講師…真栄 隆昭氏
(深田久弥と山の文化を愛する会会員)

■九月二十九日（日）
演題…下栗一深田久弥の足跡をたどる

講師…紋谷 友幸氏
(深田久弥と山の文化を愛する会会員)

（深田久弥と山の文化を愛する会会員）

読書会のお誘い

『日本百名山』など深田久弥の作品を読んで、山やその自然、文化について語りあっています。お気軽にご参加下さい。（参加無料）

●●●
●場所…深田久弥山の文化館
●時間…午後一時半より三時
七月十九日（金）「八ヶ岳」
九月二十日（金）「弥彦山」
十月十八日（金）「安達太良山」

各種お知らせ詳細はホームページをご覧下さい
深田久弥山の文化館ホームページ <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>